

令和7年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

各務原市青少年育成市民会議

■通学路ふれあい活動事業

①「通学路見まもり隊」

市内全小学校区で1,309名の方が登録され、活動していただきました。『できるときに できることを 楽しみながら』を合言葉に、隊員と子どもたちは互いの顔や名前を覚えつつ、自然なあいさつができる環境が整っています。子どもたちの安全を見守りながら、地域の一体感を深める重要な役割を果たしています。



②「通学路見まもり隊対面式」「通学路ふれあい交流会・感謝の会」

年度の始めと終わりに見まもり隊員と小学生との対面式・交流会を開催しております。体育館やグラウンドで、全校児童が日頃の感謝の気持ちを直接伝える場を設けることができました。また、感謝の会では、お礼の手紙や鉢植えなどの贈呈も行われ、地域の方々とのつながりを実感したり、ふれコミ隊にとってやりがいに気付いたりできる貴重な場となりました。



③「5年・10年継続者 感謝状贈呈」

昨年度は、『見まもり隊発足20周年』に当たる年であったことから、日頃の感謝の気持ちをより多くの方々に示していくとともに、これからも地域の安心・安全を見届けていただくために、「10年以上継続者」に対しても、感謝状を贈呈させていただきました。今年度からは、見まもり隊員として、5年間および10年間継続して登録いただいた方々に、市民会議から感謝状を贈呈させていただきました。（5年継続者92名、10年継続者33名、令和6・7年度までで10年以上継続している方407名）継続した活動から地域には温かいつながりが生まれ、児童、生徒が安心して登下校することができています。



■青少年の社会参加促進事業

①「ふれコミ隊【ふれあいコミュニティー隊】」

本市では、中学生を中心とした「ふれコミ隊【ふれあいコミュニティー隊】」を組織し、地域で開催される各種行事においてボランティア活動を行っています。「ふれコミ」とは、“ふれあいコミュニティー”の略称で、地域でのふれあいを深めながら、幅広い人間関係を構築することを目的としています。今年度は、457名（小学生、高校生、大学生等を含）が登録し、活動しました。

②「青少年の非行・被害防止街頭啓発活動」

7月5日（土）に青少年の非行・被害防止街頭啓発を行いました。毎年、非行・被害防止強調月間に合わせてイオンモール各務原インター・アピタ各務原店・ザ・ビッグエクストラ各務原鶴沼店に、ご協力いただき啓発うちわを配布しています。昨年度に引き続き、ふれコミ隊の各中学校代表も市民会議指導員と協力して来店された方々に一言声をかけてうちわを配布しました。



③「ふれコミの集い」【年間2回実施】

「ふれコミの集い」として、市内全ふれコミ隊員に呼びかけ、他の中学校区の隊員との交流や指導者との交流を行っています。2回目の12月7日に実施した『パターゴルフ大会』には、隊員及び指導者を含め、168名が参加し、楽しみながら交流することができました。「同じチームで順番に打ったけれど、応援してもらったり自分が応援したりと、とっても楽しく活動ができてよかったです。」など、うれしい感想がたくさんありました。

